

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

祝100号!

Vol.100

20214月-6月



4/29 (木・祝)

第148回しばざくらコンサート
「アンサンブル of トウキョウ」

ありがとう25周年

第148回
「しばざくらコンサート」
「アンサンブル of トウキョウ」
四月二十九日開催

■寄稿 村上 成美

アピカ和楽器教室
第一回定期演奏会
五月十六日開催

■寄稿 新福 かな

新・おんがく談義

■寄稿 岡本 芳雄

音楽の話・輪・和・Wa

感謝の25年

■文化事業一覧表(別紙)

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団
理事長 笹倉 邦好

アピカ音楽ホール創立25周年を素直に喜びたいと思います。

文化の香り高い西脇の地に世界的、全国的なエンターテイナーにも喜んでいただき、素晴らしいサウンドを目一杯響かせてお応えできるホールとして25年。たくさんのお楽しみ演奏会や公演を披露していただいています。ご来場いただく皆様にかにお応えできるか？幾多の演奏家もまたスタッフも、小さくてもこのホールのあたたかい響きに満足してお帰りいただく…こんな光景を幾度も拝見させていただいています。

そんな中で、昨年からの新型コロナウイルスの感染蔓延を受け、不要不急の外出制限に気を遣いつつ可能な限りの感染防止対策を図りながら、アピカホールは開催数を絞り、音楽の火を灯し続けてきました。その間、スタインウェイをファンの方々へ弾いていただく企画や県民芸術劇場とのコラボレーション企画、またアピカを愛して下さる地元出身者（例えば村上成美さんのフルートコンサート）や関係プレーヤーの皆さんにホールの都合に合わせていただきつつ舞台を務めていただくなど、助けていただきました。三密を避けつつもファンの方々は来てくださいます。本当に有り難く厚くお礼申し上げます。

昨春、NHKのテレビ番組で劇作家の平田オリザさんがこんなことをお話しされていました。「芸術家は永い営みの中で連続性を持ってやっている。コロナで演劇や舞台をやっているキャスト・スタッフの人たちも辞める人が出てくる。最終的に社会全体の中の文化が痩せ細ってしまう。人々が文化の恩恵を受けているがそれが今途絶えようとしている。…中略…これは大きな打撃だ。（欧州にはアーティストを支える制度がある）才能あるアーティストが“他のジャンル”に流れてしまうことを欧州の国々は大変恐れる風土がある。（文化を失うと）国益を損ねるといふ社会的なコンセンサス（国民の合意）があるのだ（以上、概要）」と。

アピカホールに関わる皆さんのみならず音楽・芸術を愛する人々すべてがコロナウイルスに負けず、コロナを乗り越えた後も、さらに素晴らしい公演が提供できるように努められたら嬉しいですね。また、ホール創立25年の令和3年がそんな社会や街になることを祈念しつつ、音楽文化が次のステップへ大きく羽ばたきますよう皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

アピカホール企画委員会 委員長 村上 正夫

ジャズファンの私が、西脇市主催のジャズコンサートが継続して実施されないことを知り、その灯が消えないよう、岡之山美術館でジャズコンサートを開催していました。このことがきっかけで、アピカホールの初代館長垣内様より誘われ、コンサートの企画を手伝うようになり、現在に至っています。

アピカホールには多くの実行委員会や企画運営委員会があり、委員の協力のもとで様々なジャンルの企画が生まれ、お客様に喜んで頂ける事業を心がけて参りました。多くの演奏家がステージいっぱい演奏を繰り広げ、お客様に喜んで頂いた光景が目に見えます。

また、ホールの事業運営は、多くの委員の協力のもとでなされてきました。忘れてはならない方、その中には私の手の届かないところに去っていかれた方や、辞めていかれた方もあります。今も活躍されている仲間の協力によって続けられています。

今までの多くの企画の中で、開館翌年から隔年で定期開催をしていたウィーン・オペレッタのシリーズから、アピカホールにとって記念になる大きな事業が生まれました。それは、市民ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』です。キャストや合唱団の出演者に、スタッフと合唱団の指導者百合花さんが、毎週、歌の指導を、またスタッフが合唱と台詞を指導しました。公演前には、ウィーンより藤原治道さんとまた、本場ウィーンの歌劇場で活躍中のヴォルフガング・ドゥッシュさんに本格的な指導を受け公演に臨みました。舞台衣装には、播州織の生地をご提供いただき、スタッフが手作りして舞台を盛り上げました。大道具、小道具、衣装、メイク、台本、楽譜、全てが手作りのこのミュージカルは、終演後、お客様より、感動し、涙が出ましたとの感想があり、出演者、スタッフ共々喜び合いました。スタッフ総勢約100名によるこのような公演ができたのは最高です。

昨年から今年にかけてのコロナウイルスの世界的な感染で大変です。音楽業界の方々も大変です。皆様の協力によって、早く終息することを願っております。

西脇市長 片山 象三

西脇市立音楽ホール「アピカホール」開館25周年、誠におめでとうございます。

開館以来、関係者の皆様のご協力のもと、多彩な事業を展開していただいておりますことに心から感謝を申し上げます。アピカホールの音の響きの素晴らしさは、音楽を愛する多くの方から高い評価を得ており、西脇市民にとってもかけがえのない財産です。

私とアピカホールとの思い出は、令和2年11月に開催された、第146回しばざくらコンサートです。同年代の村上成美さんが奏でるフルートの音色に、学生時代の郷愁の思いを馳せながら耳を傾ける時間は、大変感慨深いものでした。

近年、めまぐるしく変化する社会環境の中にあり、このような心のやすらぎは、私たちの生活に活力をもたらすとともに、新しい課題に挑戦するための想像力の源となります。

今後ともアピカホールが、多くの皆様の心を癒す場所として、ますます発展していくことを心からお祈り申し上げます。

西脇市文化連盟会長 藤本 邦之

昭和41年、新装なった西脇市民会館に招聘した京都市交響楽団の世界的指揮者・渡邊暁男先生から「立派な市民会館ですね」とお褒めをいただいた。しかし、狭い座席と曇る音響が課題であった。

その後、西脇でいすくくらぶ水田孝一、中辻寛子、藤本邦之で石野重則市長に、「音楽ホールを建てて欲しい」と陳情した。まだ西脇市が元気だった30年前のことである。

石野市長からたびたびの電話。職場は驚いていたが、「新音楽ホールは、床、反響板は特注、座席は180席でフランス製、残響音1.5秒、ピアノはK T I からスタインウェイ D274の寄贈を受けた」と。

今、私は夢想する。このアピカホールで恩田陸「蜜蜂と遠雷」（直木賞）で風間塵が弾くバルトークの「ピアノ協奏曲第三番」が聴きたい。ピアノは弾くだけでなく打楽器であるとバルトークは言う。映画「カーネギーホール」でルービンシュタインはハンマーのように鍵盤を叩き、ピアノニッシシモでは遙か遠く羽毛が天空へ飛ぶ。

おかげさまで25周年！

1996年7月23日に開館した、西脇市立音楽ホール「アピカホール」。

聴く人と奏でる人がともに“音楽”を作り上げるコンサートホールとして皆さまに支えていただきながら25周年を迎えることが出来ました。ありがとうございます。

これからもご支援、ご協力をお願い申し上げます。



4月29日(木・祝) 第148回しばざくらコンサート

アピカホール開館25周年記念事業

アンサンブル of トウキョウに寄せて

フルート奏者 村上成美



フルート 村上成美 オーボエ 青山聖樹 ヴァイオリン 玉井菜採 ヴィオラ 大野かおる チェロ 河野文昭

<届け！希望の光とハーモニー>

この度はアピカホールが開館25周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

昨年11月に演奏会をさせていただきました折にも、アピカホールが素晴らしいホールであることを実感した次第です。当日は新型コロナウイルス感染症の流行下にも関わらず、お越しいただいたお客様からは、非常に温かい反響をいただきました。アルバム「日本の郷愁」の収録曲を演奏しましたが、私にとって郷愁の地そのものである西脇で、かつての青春の日々に思いを馳せながら懐かしい曲を演奏させていただき、とても幸せな時間が過ごせました。

4月29日に行われます記念の演奏会では、私が活動を共にしておりますアンサンブルof トウキョウのメンバーと一緒に、ステージに立てる機会をいただきましたことを光栄に思っております。

アンサンブルof トウキョウは、私の恩師でもあるフルート奏者で東京藝術大学名誉教授の金昌国先生の呼び掛けで1986年に結成されました。アピカホールよりちょうど10年長く、今年で35周年になります。

金昌国先生にはアンサンブルof トウキョウで幾度となく貴重な演奏の機会を与えていた

できました。20年近く前には一緒にJ.S.バッハの「ブランデンブルク協奏曲第4番」をレコーディングさせていただいたこと、室内楽はもとより、金先生の指揮で、バッハのオラトリオやミサ曲、モーツァルトやベートーヴェンのシンフォニー等を演奏できたことも大変思い出に残ります。金先生が第一線を退かれた現在は、息子さんであるオーボエ奏者の青山聖樹さんが代表を務めておられます。

結成以来、定期演奏会も年4回のペースで続いており、今年1月には第138回目公演が東京文化会館で行なわれました。

今回の演奏会に参加していただけるのは、オーボエの青山聖樹さんをはじめ、ヴァイオリンの玉井菜採さん、ヴィオラの大野かおるさん、チェロの河野文昭さんです。みなさん演奏家として素晴らしいだけでなく、後進の指導にもあたられ、日本のクラシック音楽界を牽引する豪華なメンバーです。この演奏会のお話をいただいた時、みなさんすぐに「行きます！」と言って下さり、とても嬉しかったです。皆でアピカホールで西脇の方々

に会えるのを楽しみにしております。演奏曲目は、J.C.バッハの「オーボエ四重奏曲」やベートーヴェンの「フルート、ヴァイオリンとヴィオラの為のセレナーデ」、モ

ーツァルトの「ヴァイオリンとヴィオラの為の二重奏」、「歌劇《魔笛》よりフルートとオーボエの為の二重奏曲」など全7曲です。特にモーツァルトは4曲演奏しますので、オーボエと弦楽器、フルートと弦楽器など、いろいろな編成をお楽しみいただけるはずです。

これらのプログラムは私たちが東京での演奏会でも演奏している音楽ですが、誰もが楽しく聴けるような曲をと考えて選んだところ、歓喜溢れるモーツァルトの曲が多くなりました。

私たちの今回の演奏会は演奏後みなさんがアピカホールを後にする時には笑顔になれるよう<希望の光とハーモニー>を届けたいと

考えています。と同時に、新型コロナウイルスと戦っている人たちを少しでも勇気付けられればいいなと思います。それが、私たち音楽家にできることであり、また、願いでもあります。

さて、最後になりましたが、間もなく西脇市の新庁舎が完成すると聞いております。アピカホールの開館25周年、および新庁舎完成という記念すべき節目の年に、故郷・西脇で演奏できることをとても嬉しく思います。素敵な演奏会にすべくメンバーみんなが修練を重ねておりますので、ぜひ、ご期待ください！



アンサンブル of トウキョウ

1986年フルート奏者金昌国（東京藝大名誉教授）の呼びかけにより結成したアンサンブル。バロック時代から近現代に至るまで、さまざまな形態の室内楽と小編成のオーケストラをレパートリーとし、メンバーは国内外のコンクール入賞者やNHK交響楽団、東京藝術大学教授、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニアなどで活躍する19名から成る。

創立より年4回、紀尾井ホールや東京文化会館小ホールで定期演奏会を開催し、現在137回を数えている。定期演奏会では国内外からゲスト奏者を迎える演奏会も行なっている。また宗教曲の演奏にも定評があり、指揮者や合唱団からの信頼も厚い。演奏活動は国内に留まらず、これまでにドイツ、フランス、イタリア、モンテネグロ、アメリカ、韓国のコンサートや音楽祭に出演している。2017年度より新体制となり金昌国はアドバイザーに、オーボエの青山聖樹が代表となり、更なる発展を目指している。第15回日本管打楽器アカデミー賞（特別部門）、第23回日本音楽コンクール委員会特別賞受賞。

マネージメント：有限会社 オフィスジュビター

5月16日(日)

アピカホール開館25周年記念事業
アピカ和楽器教室 第1回定期演奏会

新福 かな

きっかけは4年前、私が所属する「和楽器オーケストラあいおい」のコンサートの1曲をワークショップ企画とし、箏を一般募集し、3ヶ月のお稽古の後、私たちオーケストラと共演するというものでした。

「和楽器オーケストラあいおい」は、夫、松崎晟山(尺八奏者)率いる和楽器のみのプロのオーケストラグループで、東京を拠点に全国各地で公演を行っており、ここ、アピカホールにも複数回呼んでもらっています。

参加者は、初めて箏に触れるという小学生からベテランの方まで幅広く、日本の童謡、唱歌をメドレーにした、私たちのオリジナルアレンジの大曲で共演し、感動の大トリを務めてもらいました。

その後、アピカ和楽器教室が正式に開講。箏に加えて、尺八クラスもスタートしました。

アピカ和楽器教室の魅力は、なんといっても本格的クラシックホール。演奏活動を始めて〇十〇年、全国様々なホールで演奏してきた中でも、お気に入り上位の素敵なホールです。そこを練習会場として使わせてもらっているという、贅沢の極み。余韻を大事にした和楽器にとって、それが体感できる最高の空間です。

そんな恵まれた環境もあって、熱心に取り組んでくれる生徒さんの上達は素晴らしく、開講から3ヶ月で、歴史ある西脇市文化連盟に加盟し、東はりま芸能祭のオープニング演奏を任せられ、華々しいデビューを遂げました。

アピカ和楽器教室の魅力は、演奏にとどまりません。なにかにつけ、バーベキュー、バーベキューと言いつつ尺八講師のおかげで、課外授業?も多いのです。生徒さんたちはも



ちろん、館長さんはじめ、スタッフの皆さんも必ず参加して下さり、ワイワイガヤガヤ。さすがにバーベキューが困難な寒い冬には、アピカホールで餅つき大会を計画!(実際には餅つきは断念して購入してきましたが)炭でお餅を焼いて、豚汁、おでん、その他持ち寄り多数で、アルコール無しの大宴会。その他、私たち講師の演奏に姫路まで乗り合わせて観に来てくれることもしばしばで、仲の良さが伺い知れます。

さて、三曲合奏という言葉をご存知でしょうか。「三曲」というのは、三つの楽器を表していて、箏、三絃(三味線)、尺八を指します。箏と三絃は「糸方」と呼ばれて、古典において、箏を演奏する人は三絃も演奏するのが普通です。更にいえば、糸方は、箏もしくは三絃を演奏すると同時に地歌を歌います。ということで、生徒さんの声もあり、令和元年7月、三絃教室を始動しました。選曲の幅も広がり、より伝統的な曲もお稽古できるようになりました。

そしてここからが本題。アピカ和楽器教室が開講して三年半、来たる5月16日(日)、満を持して自主発表会を開催することとなり

ました。有難いことに私たちは発表の機会に恵まれ、「アピカミュージックトレイン」や「ファミリーカーニバル」、「照楓会」や「芸能祭」と、年に数回、本番を経験していますが、自分たち主催の発表会は初めてで、期待と不安で一層お稽古にも身が入ります。

特に今回は、普段の大人数の合奏曲だけでなく、一人一人が重要な役割を担う、小グループでの演奏にもチャレンジする他、講師演奏では、和楽器オーケストラあいおいのメンバーの一人を助演に迎え、中能島欣一の「さらし幻想曲」を。会の最後には、ウイルスと戦う今に向けた応援ソングとして、「上を向いて歩こう」「明日があるさ」のメドレーを全員で演奏します。是非、生徒さん達の勇姿を応援していただくと共に、和の音色を生で楽しんでいただきたいと思う所存でございます。

そして、おうち時間が増えた今、和楽器なんぞ始めてみませんか?アピカ和楽器教室の生徒さんは仲間が増えること、大歓迎です!一緒にお稽古、そして、課外授業も楽しみましょう。



雪のコンサート

ピアニスト 内田 美苗

この度は「アピカホール」25周年をお迎えになられるとのこと、大変喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

かさねて情報誌「ボナンタゴン」100号発刊をお祝い申し上げます。

今から10年前2011年1月16日、「アピカホール」で演奏会をさせていただきました。

それまでもに2回、西脇市にはコンサートで伺ったことがあります。素敵な織物を見せていただいたことや、空気がとても澄んでいたことなどを覚えております。

「アピカホール」で演奏するにあたり曲目選びをするのですが、親子ペアチケットも発売されるということで、アットホームな雰囲気でお子様から大人の方まで、皆様に楽しんでいただける曲を考えました。

当日は雪が降っていてご来館いただけるか心配いたしました。満席の中、大変気持ちよく演奏できたことを思い出します。

館長様はじめスタッフの皆様にはとてもお世話になりました。ありがとうございました。

「アピカホール」の益々のご発展をお祈り申し上げます。



雪の中クレーンでアピカホールに運び込まれた内田美苗さんの愛用ピアノ、「ペーゼンドルファー」。アピカホール所有の「スタインウェイ」とは違った音色をお客様に楽しんでいただいたコンサートでした。

内田美苗 プロフィール

西宮市出身。
4歳の時、第1回リサイタルを開き、8歳でオーケストラと共演。以来、朝比奈隆氏、外山雄三氏などの指揮の下に、協奏曲の独奏者として多くのオーケストラに招かれ、華々しいキャリアを積み上げてきた。
NHK-FM、テレビリサイタルなど放送の分野で、ヴァイオリニスト、ライナー・キュッヒル氏との共演など、鋭敏な感覚を持つピアニストとして各方面で活躍中。東京藝術大学ピアノ科卒業。
現在、西宮音楽協会会長。



アピカホールの思い出

クラリネット奏者 板倉 康明

アピカホールについて書く前に、その前のことについてお話しさせていただきたいと思います。私と西脇との関わりは1984年の夏、ちょうどフランス留学から帰国した直後ですが、クラリネットの講習会で伺ったのが初めてです。西中、南中を主会場にして、たくさんの中学生に楽器の基本を教えさせていただきました。それからの付き合いになります。

多い時は年に5回伺っていたので、非常に多くの生徒さんと触れ合うことができました。この町で素晴らしい方々と出会い、色々な事を教わりました。特に留学から帰ったばかりで、私も24歳でしたのである意味「調子に乗っている」若者の一人だったと思います。そんな私に色々な角度から先生たち、生徒さんたち、周囲の方々が、はっきりとした言葉ではなかったのですが、人間として常に謙虚さ、他人に対して、仮にそれが年下の生徒であっても、常に敬意を持って接するべきだということをしっかり教えて頂きました。もう私も結構な年齢ですが、ここで教わった大事なことがそれからの私の音楽活動の基本となって現在に至っています。おかげさまで客観的にはどうかは自信がありません

んが、勘違いをしないでここまで来られていると思います。ここ西脇には決して大袈裟でなく、日本の吹奏楽の原点、音楽を通して人間形成をする。という伝統がしっかり守られています。

そのような地に、新しいホールが出来て、その大きさも決して大きすぎず小さすぎずちょうど良く、素晴らしい響きのホールで、西脇らしいいな！と思ったことを思い出します。

たまたま数年前に私が関わっているクラリネットアンサンブル「エクラ」をアピカホールに呼んでいただき、楽しい演奏会を開かせていただきました。ホールの素晴らしさはもちろん、西脇の生徒さん、先生と同じステージでアンコールの「ふるさと」を合奏したのは素敵な思い出として私を含めたメンバーの心にしっかりと刻まれています。

これだけお付き合いが長いと素晴らしい出会いと同じように悲しい別れもこの地で経験しました。でもこの場を取り巻く自然は何ら変わっていません。このような素晴らしいホールで音楽を通してこれからも「人間」の素晴らしさが繋がっていくことを心から願っています。

板倉康明 プロフィール

東京藝術大学、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院を卒業。クラリネットのソリストとして広範な活動を世界各地で行っている。フランスと日本を拠点とし特にフランス近代以降の作品、現代作品演奏での評価は高い。東京都交響楽団、東京フィルハーモニーを始めとする国内主要オーケストラ、又、指揮車としてもボルドーアキテーヌ国立管弦楽団を始めとするヨーロッパのオーケストラにもたびたび客演している。サイトウキネン、サントリーサマー等の音楽祭に出演、全音楽譜出版社より数々の著作が出版されている。東京シンフォニエッタ音楽監督、国立音楽大学客員教授、国立ボルドーヌーヴェルアキテーヌ高等音楽舞踏学院教授。





ピアノ調律のはなし ♪2 ~ドレミとドミソの音程の不思議~

ピアノ調律師 岡本 芳雄

今回は、ドレミ（旋律）とドミソ（和音）の摩訶不思議な音程のお話です。ポナンタゴン読者の皆さんなら、音楽に触れるたびに「ドレミファソラシの音程」を気にしておられるのではないのでしょうか？ 弦楽器や管楽器などは、電子チューナーを使って音合わせをする事もあるので、「ドの音」も「ミの音」もそれぞれ決まった「正しい高さ」があると信じておられる方も多いでしょう？

『そもそも1オクターブに7つの音って誰が決めたの？』と言う質問を受けることがあります。確かに5つとか10に等分しても面白そうですが、「ドレミファソラシ」の7音は、自然の法則と結びついています。しかし、「神さまがお作りになった」にしては、どうしても解せない「歪み」を抱えているのです。

まずは「1つの音が鳴る様子」（自然現象）にスポットを当ててみましょう。例えばドの音が鳴っているのを注意深く聴くと、ソやミの音と一緒に鳴っているのが聴こえます。これらは倍音と呼ばれていて、「ド」の子や孫と言ってもいいでしょう。普段「倍音」が気に留まらないのは、倍音の音量がとても小さく、親の「ド」と完全に調和しているからです。ギターやバイオリンのフラジオレット奏法、また金管楽器も「倍音」を利用して演奏するので、よくご存知の方もいると思います。

この「倍音の完全に調和した音」を電子チューナーで測ると、「ソ」はほんの少し高く「ミ」は大分低いです【※1】。反対に言うと、電子チューナーの「ソ」や「ミ」は、「ド」とは「完全には調和しない音程」だと言うことですね。この知識はハーモニーを演奏するときにも役立ちます。例えば「ドミソ」の和音を伸ばす時、「ミの音」を「低め」にすると、より安定したサウンドが得られるでしょう。時々話題に上る「純正律」も倍音の音程に基づいたもので、「ドミソ&ファラド&ソシレ」の和音を完全に調和させる音律です。但し純正律は、レーラの音程が狂っていてドレミファソラシの階段（旋律）がギクシャクするという副作用を抱えています。完全を目指した音律に不具合が残ってしまうのは、蒸留物と残留物の関係、あるいは『あちらを立てればこちらが立たず』の諺（ことわざ）にも似ているのでしょうか？

一方、心地よいメロディーでは「電子チューナーのミ」よりもさらに高めのミが使われる事があります。この「高めのミの音」は案外古くから親しまれていて、紀元前のピタゴラスの研究にまで遡る事になります。現代に至っても、世界各地で歌われる五音音階の民謡や雅楽の笙の調律、また旋法音楽のグレゴリオ聖歌などで「高めのミの音」が登場します。

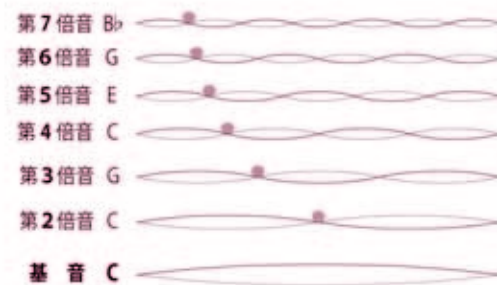


C（ド）に含まれる倍音
※数値は平均律と比べたセント（¢）数の差

心地よいドレミ（旋律）には「高めのミ」。
心地良いドミソ（和音）には「低めのミ」。

『一緒に演奏するのにどうすればいいの？』となりますよね。どちらも同じ音程なら『サスガ神さま Good Job!!』と、誰もが素直に納得しますが、そうはいかないのです。ルネサンス時代に始まったとされる「メロディーと和音で構成された音楽」を楽しむなら、完璧は諦めなければなりません。案外そんなイタズラが『God Job』なのかもしれませんね！高めのミや低めのミそして普通のミなど、微妙で多彩な音の組み合わせが益々音楽を豊かにしています。

【※1】1オクターブを12等分した時の半音を100¢（セント）とした場合、平均律の音と比べてドの第3倍音（ソ）は2¢高く、ドの第5倍音（ミ）は14¢低い



弦の振動（波）と倍音の節



※QRコードで用語集のリンク

今回はルネサンス時代からバロック時代に編み出された「鍵盤楽器の調律法」のお話です

プロフィール 岡本 芳雄（おかもとよしお）

小中学生の頃、時計・カメラ・オルゴールなどの分解に没頭。高校1年生ではピアノを分解する。このころから調律を独習し始め、調律の世界に強い関心をもつ。国立音楽大学別科調律専修修了後、東京ピアノ製作所・斎藤ピアノ調律所を経て、1984年故郷・西脇で独立し現在に至る。

（一社）日本ピアノ調律師協会会員、国家資格一級ピアノ調律技能士





催し案内

蓄音器で味わう名曲シリーズ

廣田有司さん（各種レコード・蓄音器 蒐集家／出前コンサート・サロンコンサート等企画／西脇市在住）所有の蓄音器で奏でる昔懐かしい、やわらかな音色と共に、よみがえる風景や香り……

各回、テーマにそった名盤を蓄音器の機種による特徴を活かすためホールで試奏し、音色を吟味してからお届けしています。

蓄音器の構造などについても気軽に尋ねいただけるアットホームなコンサートです。

お話は橋本孝公さんです。



各回14時開演（13時30分開場） 入場料 500円（駐車場代別途）

4月17日(土) 14時開演（13時30分開場）

入場料 500円（駐車場代別途）

第16回 蓄音器で味わう名曲シリーズ～古関裕而特集～

4月29日(木・祝) 14時開演（13時開場）

入場料 一般3,000円 高校生以下1,500円

アピカホール開館25周年記念事業
第148回しばざくらコンサート
「アンサンブルofトウキョウ」

6月27日(日) 15時開演予定

入場料 1,000円

第27回「アピカ・フレッシュコンサート」

※申込がない場合は開催いたしません。



ボナンタゴン会員カードについて

ボナンタゴン会員の方に「ボナンタゴン会員証」を4月発行号に同封しております。

このカードは、コンサートチケットご予約時やコンサート来館時に番号をお伝えいただくことで、毎回の個人情報の提示が省略できます。

また、西脇ロイヤルホテルレストラン入店時にご提示にてお食事代金 **10%引** 優待。

会員証を希望の方はアピカホールにご連絡ください。



ボナンタゴン会員の皆様へ

おかげさまで
25周年を迎えました

宴会・結納・結婚式・披露宴・食事会・パーティー
同窓会・会議セミナー・展示会・法要 等承ります。

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

1階レストラン（ランチメニュー一例）

日替わりランチ（コーヒー付）…………… 平日限定 ¥1,100
サーフ&ターフ（先着10名様）…………… 平日限定 ¥1,320
ホリデーランチ …………… 土日祝限定 ¥1,210
貝だくさんの贅沢うどん（先着10名様）…………… 土日祝限定 ¥1,210
シェフ自慢のピラフ又はスパゲッティ（サラダ付） …… ¥946
黒田庄和牛のビーフカレー（サラダ付） …………… ¥1,210
四季の彩り弁当 …………… ¥2,420
おすすめ国産牛陶板焼き膳 …………… ¥3,278

ボナンタゴン会員カードを入店時ご提示ください。
上記お食事代金 **10%引** 優待
※上記の料金は全て税込表記になっております。

朝食 6:45~9:45 (L.O.9:15)
昼食・軽食 11:30~14:30 (L.O.14:00)
・食事は14:00ラストオーダー
・アピカホールコンサート開催日は17:00まで喫茶対応
ディナー 17:30~21:30 (L.O.21:00)

BOSCH **ボッシュ**
Invented for life **ビルトイン食器洗い機**

予洗いなして
しっかり洗える
洗浄力

お皿から鍋まで
まとめて洗える
収納力

深夜に使用しても
気にならない
静音性

株式会社 藤田幸三商店 西脇市高松町633-18 ☎0120-165-995
TEL.0795-23-5995 FAX.0795-23-6564

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者

和心建設 株式会社

WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

ISO 9001
JQA-QM5608

音楽の 話・輪・和・Wa

『感謝の
25年』
西脇
ロイヤルホテル
中川 省三

開館25周年本当におめでとございます。四半世紀にわたり多くのお客様に来館していただき、数多くの感動を与えられたと思います。

奥行きのあるステージ、天井そして両サイドの壁面が何故にあのような角度に作られたのか、当時から全ては音楽ホールの基礎である音響の素晴らしさをアピールするため出来たものでしょう。

私も隣のロイヤルホテルも25年前の7月に同時にスタートしました。ホテルは経営などにおいて紆余曲折、大変な毎日ですが、アピカホール様の協力なくして今がありません。感謝の一語に尽きます。

私が、初めてホールに入らせていただいたのは、平成15年だったと思います。日本を代表するシンガーK・Mさんが『プライベートライブ』と題して日本中から大切なお客様を呼んでのイベントをされ大変盛況だったのを、記憶しています。『セクシャルバイオレット…』

と流れた時はいつも思いだします。

数多くの企画案から無事終了する当日まで、担当する館長はじめ事務所スタッフの皆様へ敬意。そして音楽ホールとして最も『要』である音響・照明の緻密なフォローと納得いくまでのリハーサル、本当の意味の『縁の下の力持ち』に感謝です。

これからもスタッフ皆様から発信される【感動】【感激】を大きく期待いたします。

(大阪府在住)

編集後記

コロナ禍で回数が増えた事といえば、手洗いと消毒と検温ですね。最初は慣れなくて戸惑うこともあったと思いますが、ショップやレストランなどに入店するたびにすっかり普通のことになりました。最近はいろいろなタイプの検温があり、非接触で体表の温度を自動で測定！なんと機械がおしゃべりします(笑)

ここアピカホールでも、コンサート時には入口付近で風通しのよい場所に受付を設け、コロナ対策をしています。

ゆっくり演奏会を楽しんでいただくために、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけていきたいものです。

(green)

●本館ギャラリー

第21回企画展

「増田妃早子 — 語りなおす夢として...」展

4月11日(日)～8月22日(日)



横尾忠則デザイン
第21回企画展
「増田妃早子-語りなおす夢として...」展ポスター

本展では、風景をはじめ多彩なモチーフを描いた油彩の代表作や繊細な紙の作品、本展のために制作した新作などを一堂に展示し、眼差しをかたちにする作家の静寂を混えた不思議な絵画の魅力に迫ります。

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
入館料 大人300円(250円)、シルバー250円(200円)、高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)
※()内20名以上の団体割引料金
※障がい者割引有、コロナカード利用可
※65歳以上の方は、年齢確認のできるものをご提示ください。
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
※ゴールデンウィーク中は開館 ※8月10日(火)臨時開館

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

●アトリエ個展シリーズ 前期

- VOL.1 ●笹本 しずか 展 (絵画)
4月13日(火)～5月5日(水・祝)
- VOL.2 ●大口 かつみ 展 (絵画)
5月7日(金)～30日(日)
- VOL.3 ●藤飯 千尋 展 (絵画)
6月1日(火)～20日(日)
- VOL.4 ●竹田 剛 展 (絵画)
6月22日(火)～7月11日(日)

※アトリエ入館無料
※各会期の最終日は午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

姫路市上大野に音楽教室 OPEN

2021.4.11 sun. オープニングイベントご招待

時間 ①13:00～13:40 ②14:00～14:40 ③15:00～15:40 ④16:00～16:40

席数の都合により予約制とさせていただきます。上記いずれかの時間でご参加ください。

ミニコンサート (1F STUDIO) & 内覧説明会 (2F BREAK SPACE ソフトドリンクサービス)

【音楽教室】リトミック、キッズダンス、ピアノ、ヴァイオリン、フルート、アコースティックギター、箏、三絃、尺八

ACCESS

「姫路駅」北口発 (3番、11番) → 獨協大学方面行きバス「上大野」下車、徒歩すぐ。
駐車場 7～8台 (軽自動車含む) 定休日: 日曜日、月曜日
〒670-0896 姫路市上大野6丁目5-12
TEL 079-227-4585 FAX 079-228-1221
E-MAIL info@wa-on.biz ホームページ <https://wa-on.biz/studio>

和'on Music Studio



アピカホール 催しガイド 4月～7月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
4/3(土)	第25回 「リトルピアニストの大きなコンサート」説明会	10:30～	関係者	アピカホール ☎0795-23-9000	
4/3(土)	春の連弾パーティー 11かいめ	14:00～	関係者	服部 文子 ☎0795-42-1530	
4/17(土)	アピカホール開館25周年記念事業 第16回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～古関 裕而特集～	14:00開演 (13:30開場)	500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P12
4/18(日)	くすのきリトルピアノコンサート	10:00～(予定) 14:00～(予定)	関係者	楠 宮子	
4/29(木・祝)	アピカホール開館25周年記念事業 第148回しはざくらコンサート 「アンサンブルofトウキョウ」	14:00開演 (13:00開場)	一般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4-5
5/2(日)	Music*Harmony音楽教室 エレクトーン・ピアノ発表会	13:00～ (予定)	関係者	藤原 恵理佳	
5/16(日)	アピカホール開館25周年記念事業 アピカ和楽器教室 第1回定期演奏会	14:00開演 (13:30開場)	入場無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P6-7
6/6(日)	先生と生徒のLittle Concert	13:00～	関係者	熊原 幹恵 ☎0795-23-1671	
6/27(日)	アピカホール開館25周年記念事業 第27回「アピカ・フレッシュコンサート」	15:00開演 予定	1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P12
7/11(日)	アピカホール開館25周年記念事業 第17回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～ジャズ ヒットパレード～	14:00開演 (13:30開場)	500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P12

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。

■交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き
「西脇」下車すぐ。
三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。
<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。
<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2021年3月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。